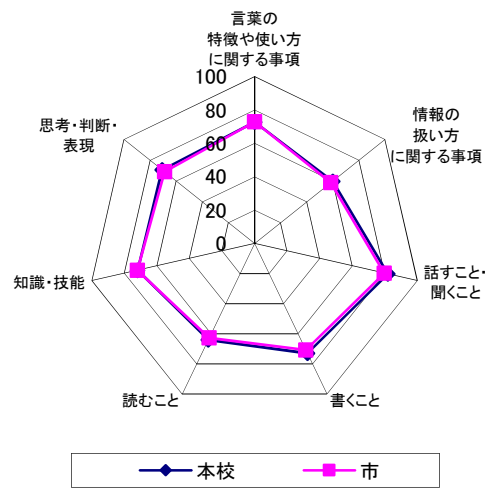


宇都宮市立瑞穂台小学校 第6学年【国語】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度		
		本校	市	参考値
領域別	言葉の特徴や使い方に関する事項	72.8	73.0	75.5
	情報の扱い方に関する事項	59.8	58.5	59.0
	話すこと・聞くこと	82.0	79.8	75.9
	書くこと	73.0	70.7	71.7
	読むこと	64.1	62.8	62.5
観点別	知識・技能	71.9	72.0	74.4
	思考・判断・表現	70.7	69.0	68.5

※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
言葉の特徴や使い方に関する事項	市の平均正答率を0.2ポイント下回っている。 ●設問でみると、漢字の書き、同じ読みの漢字の使い分け、敬語の使い分けで正答率が低い。 ●文章を書くときに、話の内容ごとに分けて書くことが意識されていない。また、段落の理解ができていない。	・特に正答率の低かった敬語の使い分けについて指導を重点化したい。 ・尊敬語と謙譲語のちがいについて振り返り、相手に応じて敬語の種類を使い分けられるように指導する。 ・敬語を会話の中で日常的に使用させていく。
情報の扱い方に関する事項	市の平均正答率を1.3ポイント上回っている。 ○原因と結果など情報と情報との関係について理解することができている。	・情報と情報との関係について理解したり、情報を正しく読み取ったりできるように指導していく。
話すこと・聞くこと	市の平均正答率を上回っており、どの設問も平均正答率が高い。 ○国語の授業だけでなく、他教科との関わりの中でも自分の意見や考えを発表・話し合う機会を設けたことが成果につながった。	・話し手の主張や理由・根拠など話の中心となる事柄を的確に捉え、聞き取った話の内容に対して自分の考えをまとめたり、意見を述べたりする機会を設け、指導する。
書くこと	どの設問も市の平均正答率と同程度である。 ●選択式の問題の正答率は約80ポイントであるのに対して、記述式の問題の正答率は50～60ポイント程度である。 ●無答が約18ポイント、内容が不十分な解答が約12%と、合わせて約30ポイントであり、情報を読み取り文章にすることが苦手であることがうかがえる。	・複数の情報をつなげて考え、文章にする練習を意図的に設けるようにする。 ・引き続き、自分の意見やその理由を、根拠をあげて書く活動を確保する。
読むこと	ほとんどの設問で、市の平均正答率を上回っている。 ○文章を読み、その大体の内容を的確にとらえることができています。 ●登場人物の気持ちを表す言葉や要点を捉えるための重要な語句を選ぶことが、やや苦手な傾向にあるため、指導を重視していきたい。	・登場人物や内容を整理しながら音読できるように指導を続けていく。 ・語彙力を高め、文章のつながりに気付けるよう、読書をする時間を確保していく。